

生物多様性の日 記念イベントin 美浜 ～カワウと人とのかかわり～

2025年

5月25日(日)

13時30分～16時15分
(開場13時00分～)

会場：美浜町総合公園体育館サブアリーナ
(美浜町大字北方字十二谷1番地2)
鵜の山周辺

参加無料
先着100名
(要予約)



<参加申込方法>

申込期限 2025年5月7日(水)
17時まで

※講演会のみ参加の場合は
5月16日(金)17時まで

QRコードまたは
以下のURLから
必要事項を入力して、
申込みください。



<https://forms.office.com/r/AY5TnRiWwn>

プログラム

13:00～13:30 開場・受付

13:30～13:45 開会・挨拶

13:45～15:00 講演会

鵜の山におけるカワウと人との関わり

講師 亀田佳代子氏 (滋賀県立琵琶湖博物館館長)

15:00～15:15 休憩

15:15～16:15 自然体感ウォーキングとカワウ観察会

(美浜町総合公園体育館～鵜の山 約2km ※少雨決行)

※当日、プログラムが変更となる場合がございます。

ご来場の方には
記念品をプレゼント!!



主催 愛知県・美浜町

問合せ先：愛知県環境局環境政策部自然環境課 (TEL 052-954-6227)



生物多様性の日とは？

1992年5月22日に国連において生物多様性条約が採択されました。
これを記念し、毎年5月22日を国際生物多様性の日としています。

美浜町・鵜の山繁殖地

鵜の山繁殖地は、昭和9年に国の天然記念物に指定された約10万m²の松林に1万羽以上のカワウが生息する繁殖地です。
カワウの糞で白くなった松林は、まるで雪が積もったように見えます。
池には、カワウだけでなくいろんな水鳥たちが集まり、バードウォッチングが楽しめます。

出典：美浜町 景観資源リスト - 愛知県



カワウとは？



カワウの仲間（ウ類）は、カツオドリ目ウ科に分類されます。
日本には全部で4種のウ類が生息していますが、カワウのみが他の3種と異なり、内湾を中心とした沿岸部から内陸の河川、湖沼までの水域を広く利用します。

カワウの体長は約80～85cm、翼長は31～34cm、体重は約1.5～2.5kgです。
羽色は全身褐色がかった黒色で、繁殖期になると頭部と腰部に白い繁殖羽が生じ、目の下の露出部が赤くなり、下嘴の付け根の黄色い裸出部は黒が混ざり遠くから見るとオリーブ色に見えます。

出典：カワウの生態 | カワウの保護管理 ぽーたるサイト

講師のご紹介



亀田佳代子氏（滋賀県立琵琶湖博物館館長）

1996年12月から滋賀県立琵琶湖博物館に学芸員として従事。
2024年4月から現職（滋賀県立琵琶湖博物館館長）。博士（理学）。
動物生態学をご専門として、カワウによる養分供給を軸とした森をめぐるカワウと人との環境史、カワウ問題における歴史性と現代の保護管理との関わりなどの研究に従事されています。
カワウ研究における第一人者としてご活躍です。

会場周辺地図

【交通アクセス】

お車の場合

南知多道路
「美浜IC」から車で2分
※東側の緑地広場駐車場をご利用ください。

公共交通機関の場合

名鉄河和線
「河和駅」から徒歩45分



愛知県の自然公園についてはこちらへ

あいちの環境URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/park.html>

